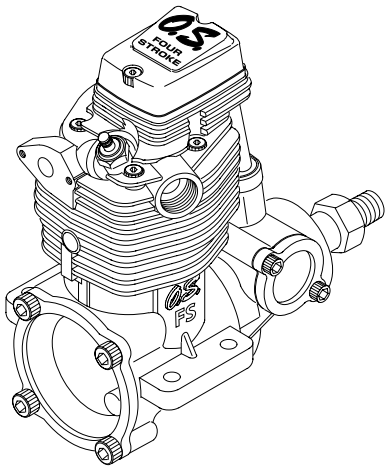
O.S.ENGINE

FS-26S-C Ver.Ⅱ

――― エンジン取扱説明書 ―――

このたびはOSエンジンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- **この取扱説明書と「保証書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。**
  とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- **また必要なときに、参照できるように取扱説明書は大切に保管してください。**
- **使用する模型や無線操縦装置等の説明書も、あわせてお読みください。**



目　次

安全上のご注意 ---------- 2-5
電動スターターを使用する時の注意 ------- 6
エンジンについて ---------- 7
始動前の用具類 ---------- 8-9
エンジン各部の名称 ---------- 9
グロープラグについて ---------- 10
スーパーエアクリーナー102Sの取り扱い ---- 11
キャブレタースロットル、ハイパーエキゾースト
ガスケット、エンジンの取り付け ---------- 12-13
始動～ブレークイン（ならし運転）----- 14-18
タペット調整について ---------- 18
取り扱い上の注意 ---------- 18
使った後の手入れ、エンジンの点検 -------- 19
トラブルシューティング ---------- 20-23
エンジン分解図&部品表 ---------- 24-25
キャブレタースロットル分解図及び部品表 --------- 26
オプションパーツ＆アクセサリー ------- 27-28
三面図 ---------- 29
アフターサービス ---------- 30-31
メ　モ ---------- 32
保 証 書

安全上のご注意

＊ ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

＊ この安全上の注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。
常に安全を心がけエンジンの馬力を軽視しないこと。エンジンを安全に使用するのはあなた自身の責任です。いつも注意深く分別ある行動をして楽しく使用してください。

■ この注意事項は誤った取扱いをした時に、生じる危害や損害の程度を「警告」「注意」に区分しています。

⚠ 警　告
この表示の欄は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 注　意
この表示の欄は、人が中程度または軽傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容です。

⚠ 警　告

・燃料は有毒ですので目や口に入れないでください。幼児や子供の手の届かない冷暗所で保管してください。健康を害する恐れがあります。

・燃料は火気厳禁です。火災の恐れがあります。

・換気の悪い場所（密閉したガレージや室内等）で運転しないでください。有害な一酸化炭素等を排出しますので必ず戸外で運転してください。健康を害する恐れがあります。

・運転中、運転直後のエンジン本体やサイレンサー、マニホールドに触れないでください。やけどの恐れがあります。

⚠注　意

・このエンジンは車用です。模型用以外に、使用しないでください。ケガや故障の原因となります。

・エンジンは模型に搭載してから始動してください。搭載前に始動するとケガの恐れがあります。

・必ず消音効果の高いサイレンサーを使用してください。耳に損傷を受ける恐れがあります。

・エンジンを使用するときは、子供や周囲の人々は安全のために、模型の後方6メートル以上離してください。エンジン始動後は模型には、近付けないでください。ケガをする恐れがあります。

・模型にエンジンを取り付けるときは、模型の説明書の指示に従って、確実に取り付けてください。エンジンがはずれてけがをする恐れがあります。

・プラグを通電しての点検時は手で持たずに、工具等ではさんで行ってください。また顔を近付けないでください。コイル内の燃料が沸騰してやけどをする恐れがあります。

・エンジン始動前に各部のねじ、ナットにゆるみがないか必ずチェックしてください。特に取付け部分や可動部は注意してください。破損しケガをする恐れがあります。

⚠注　意

・エンジンを始動するときは、安全メガネや手袋を着用し、必ずスターターを使用してください。ケガをする恐れがあります。

・走行前にスロットル・リンケージをチェックしてください。はずれるとケガをする恐れがあります。

・グロープラグクリップやそのコードが、回転部分にからまないようにしてください。
巻き込んでケガをする恐れがあります。

・エンジンを運転中、車体を持ち上げてタイヤを空転させないでください。
ケガや故障の原因となります。

・エンジンを停止させるときは、エンジン回転を最低速にし、燃料パイプをつまんで、燃料供給を止めてください。その際、回転部分には触れないでください。ケガをする恐れがあります。

・エンジン停止後、プラグヒートをしなくてもクランクすると、始動することがあります。ケガや故障の原因となります。

電動スターターを使用する時の注意

オーバーチョーク（シリンダー内に余分な燃料が入り過ぎた状態）のままで電動スターターを使用すると、シリンダー内の燃料が圧縮できなくなり、ピストンがシリンダー内で動かなくなります。同時にコンロッドが変形したり、他のエンジン内部のパーツを破損してしまいます。

オーバーチョークの場合は、プラグレンチでプラグを取り外した後、スターターを使用し余分な燃料を排出してください。この時、燃料が飛び出すので目に入らないよう、ウエスなどで押さえてください。プラグ穴から燃料が出なくなったら、プラグを取り付けてエンジンを始動してください。

エンジンについて

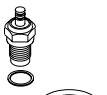
このFS-26S-C　Ver.Ⅱは低速からの独特のトルク感とサウンドが魅力の、1/10クラスカー用OHV方式4サイクルエンジンです。
新設計の20Pキャブレタースロットルは、従来のキャブレターに比べ、口径が5mmにスープアップされました。
またエンジン性能を長く持続していただくため、スーパーエアクリーナー102Sを標準装備しました。

注　意

キャブレタースロットル20Pはエンジンに取り付けてありません。取り付けの項を参照に確実に取り付けてください。

付属品

- **グロープラグ TYPE F　1個**
  （エンジン組込済）



- **スーパーエアクリーナー**
  102S 一式

- **ハイパーエキゾーストガスケット**

- **インシュレーター　・キャブレターリテイナー**

- **インテークマニホールド 一式**

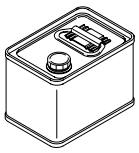
- **キャブレター**
  スロットル20P 一式

始動前の用具類

エンジンを始動するために、次のような用具が別に必要です。エンジンを購入された販売店等に相談して購入してください。

燃　　料

一般に市販されている良質の模型エンジン用燃料をご使用ください。目安としてニロトメタン２０％前後で潤滑油が多く含まれる燃料をお勧めします。一般にエンジンの出力は、使用する燃料に含まれるニトロメタンの量が多くなるにつれて増加しますが、その分グロープラグの磨耗が早く、エンジンの寿命が短くなる点にご留意ください。

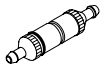


⚠ 燃料は有毒ですので目や口に入れないでください。幼児や子供の手の届かない冷暗所で保管してください。健康を害する恐れがあります。

⚠ 燃料は火気厳禁です。火災の恐れがあります。

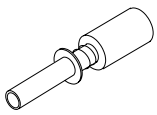
燃料フィルター

燃料タンクからキャブレターへつなぐチューブに取付けて、ゴミ等を取り除くフィルター



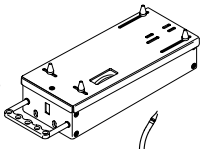
プラグブースター

プラグヒートの時に使用します。始動用バッテリーとブースターコードが一体になった物。使用する前に満充電しておきます。



スターターボックス

エンジン始動時に使用します。

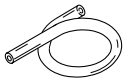


燃料ポンプ

燃料缶から燃料タンクへ燃料を移す時に必要です。

シリコンチューブ

燃料の配管に使用するもので、内径2mm、外径5～5.5mm位のものが良いでしょう。

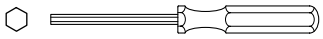


■ **工具類**

次のような工具があると便利です。

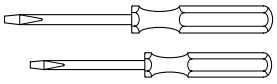
六角ドライバー

対辺が1.5mm、2mm、2.5mm、3mm。



マイナスドライバー

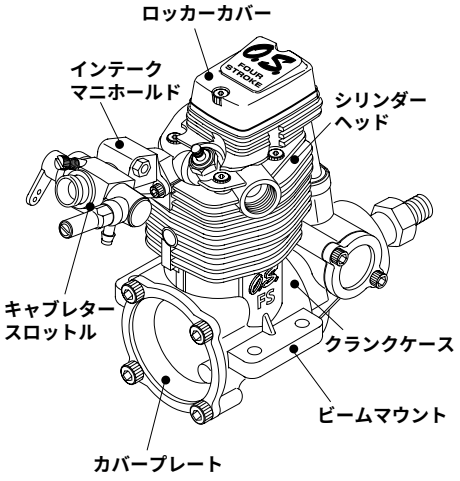
キャブレターの調整に必要です。1番、2番など。



OSロングプラグレンチ（プラグキャッチ機構付）

スプリングによりプラグがレンチに固定できるので、取付位置が深い場合の脱着に便利です。（別売）

エンジン各部の名称



グロープラグについて

グロープラグは使用される燃料や気象などにより、エンジンに作用する性質が変化します。もし、グロープラグのフィラメントが断線したり、傷んだ場合は同じOS Type Fを使用してください。

グロープラグの役目

グローエンジン始動時は通電しフィラメントを赤熱させ点火させます。始動後は通電を止めても前サイクルの燃焼熱によりプラグのフィラメントが赤熱され回転が持続します。高回転時にはフィラメントが高温となり早いタイミングで点火し、低回転時では遅いタイミングで点火を行います。

グロープラグを長持ちさせるコツ

グロープラグは消耗品と考えてください。使い方次第でプラグの寿命は大きく変わります。ここでプラグを長持ちさせるコツをいくつかご紹介しましょう。

- グロープラグを中速以上の回転域では、プラグヒートの電源を切ること。
- あまりニードルを絞りすぎない。
- エンジンにマッチしたプラグを使用する。
- なるべく低ニトロ燃料を使用する。

グロープラグの交換の目安

エンジンの性能を100%維持するには、いつもプラグをベストコンディションに保つ必要があります。こういう場合は早めにプラグを新品に交換してください。

- フィラメントの表面が荒れて白色化している場合。異物が付着している場合。
- フィラメントが変形している場合。
- フィラメントの表面が汚れている場合。
- プラグの本体が錆びている場合。
- 混合気が濃いときにエンジンが止まりやすくなった時。
- 低速回転時に止まりやすくなった時。
- 始動性が悪い時。

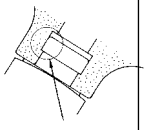
スーパーエアクリーナー102Sの取り扱い

キャブレターへの取り付け

キャブレターが砂やほこりで汚れている場合は、きれいに洗浄しシール剤や接着剤が付着している場合は、完全に取り除いてください。

・エアクリーナー本体の接続部の溝を図のようにキャブレターにしっかりはめ込んでください。不十分な場合、脱落する恐れがあります。

・ヒートシンクヘッドやニードルバルブに、接触しない位置にセットしてください。



エンジンクリーナーの溝にきっちりとはめ込んでください。

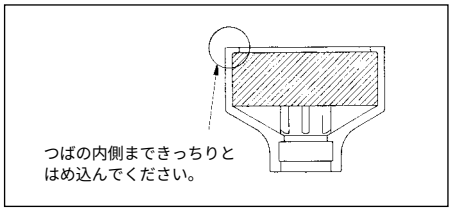
フィルターエレメントの装着及び交換

フィルターエレメントは保管の状態により、フィルターオイルが不均一になっていることがありますのでフィルターエレメントをポリエチレンの袋等に入れ手でよくもんでから使用してください。また、フィルターエレメントに浸み込んでいるオイルは紫外線により脱色することがありますが性能上、影響はありません。

使用状態によっても異なりますが、延べ走行時間が約1時間を目安に交換してください。交換の際、エアクリーナー本体に付着している砂やほこりがエンジン（キャブレター）内部に入らないように十分注意してください。

（注意）

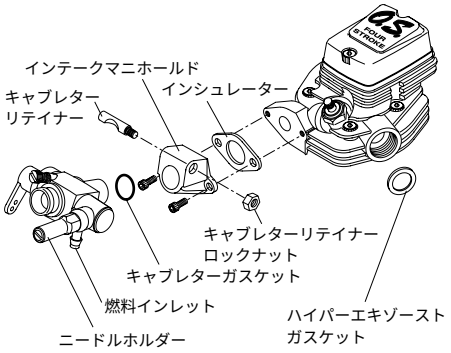
フィルターエレメントはすでに特殊なフィルターオイルを浸み込ませています。オイルには粘着力があり、べたつきますから注意してください。



つばの内側まできっちりとはめ込んでください。

キャブレタースロットル及びハイパーエキゾーストガスケットの取付け

- インシュレーターとインテークマニホールドを取り付けます。
- キャブレターリテイナーをインテークマニホールドに仮止めします。
- 次にキャブレターガスケットをキャブレターにはめます。
- キャブレターをインテークマニホールドに押さえつけながらキャブレターリテイナーのロックナットを、ゆっくりと締めて行きます。
- 軽く止まった所から60～90°締め込んでください。それ以上に締め込むと、ひずみや破損の原因となりますのでご注意ください。
- なお燃料インレットの位置を変える場合、ニードルホルダーをゆっくりしめていき軽く止まったところから、45～60°締め込んでください。それ以上締め込むと燃料インレットがひずみ、燃料もれの原因となりますのでご注意ください。



- ハイパーエキゾーストガスケットはシリンダーヘッドのエキゾーストの中に入れます。

注意

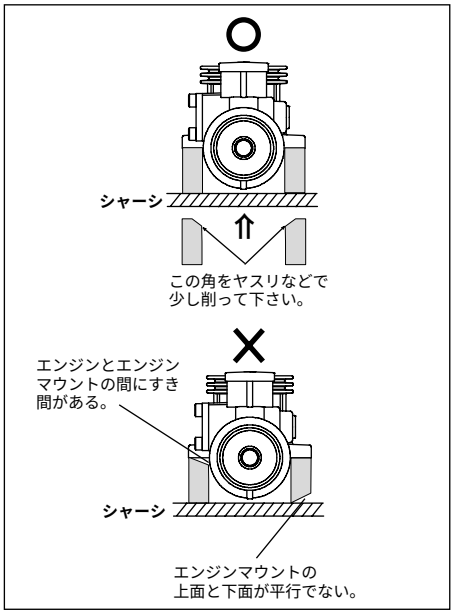
搭載するキットによって、取り付け方が変わる場合があります。

エンジンの取り付け

車に搭載する場合､次のことに注意してください。

・エンジン本体の取付け面（ビームマウントの下面）は完全に平面になるように加工されています。キットに付属されているエンジンマウントが平面でないと、クランクケースやシリンダーライナー、ベアリングなどを変形させ、エンジンの性能を十分発揮できないばかりでなく、エンジンを壊してしまうことがあります。

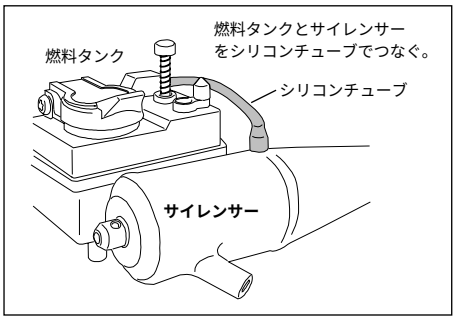
・エンジンマウントの上下面が平行になっていることを確認のうえ、3mmの六角穴付キャップスクリューでエンジンに取り付け、その後シャーシに搭載してください。



始　動～ブレークイン（ならし運転）

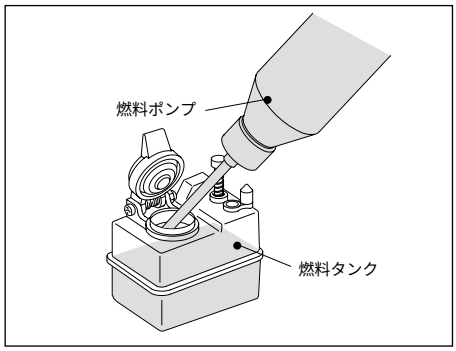
エンジンを始動する時には、車体を台等の上に置いてタイヤを浮かせた状態で行ってください。

車の場合、燃料タンクの位置がキャブレターと比較的離れている上に、走行中は路面の凸凹等でタンク内の燃料の液面が大きく変化します。燃料の液面差を少なくし、燃料を安定してキャブレターに供給するために、**必ずマフラープレッシャー（エンジンの排気圧を利用して、サイレンサーから燃料タンクに圧力をかける方法）を使用してください。**

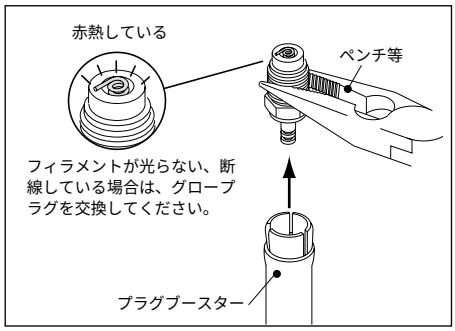


エンジンの性能を最大に発揮させるため、適当なブレークインとキャブレター調整が必要です。（実際に車にエンジンを搭載し、走行させながら行ってください。）

◆燃料タンクに、燃料を入れます。

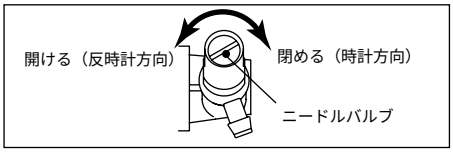


◆ プラグのフィラメントが赤熱するかプラグブースターで確認して、ヒートシンクヘッドに取り付けてください。



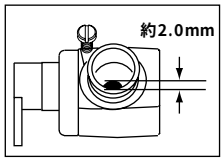
⚠ **プラグを通電しての点検時は手で持たずに、工具等ではさんで行ってください。また顔を近付けないでください。コイル内の燃料が沸騰してやけどをする恐れがあります。**

◆ニードルバルブを時計方向にゆっくりと止まるまで閉めます。この位置がニードルバルブの全閉位置で、これ以上は無理にまわさないでください。



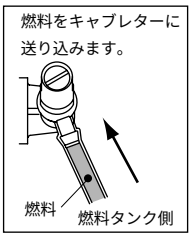
◆この全閉位置から約2回、反時計方向へニードルバルブ開をけます。（ニードルバルブを時計方向にまわすことを閉める、その反対を開けると言います。）

◆スロットルバルブが約2.0mm位、開くようにローター調整ねじで調整します。



◆送信機、受信機の順にスイッチを入れます。

◆燃料タンクのチョークボタンを数回押して、燃料をキャブレターに送り込みます。

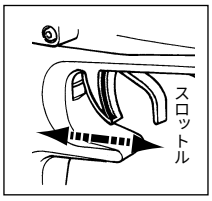


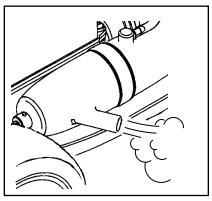
◆グロープラグをヒート（加熱）する。プラグブースターでグロープラグに通電して、エンジンを始動してください。（必ずエアクリーナーは付けてください。）

（注意）

エンジンを始動する時はタイヤを地面から持ち上げていますので、エンジンはいわゆる無負荷状態にあり、スロットルが中速以下でもかなりの高速で回転します。この状態で運転を続けると、コンロッドとクランクピンが焼き付きを起こすことがあります。スロットルを開けすぎないようにしてください。

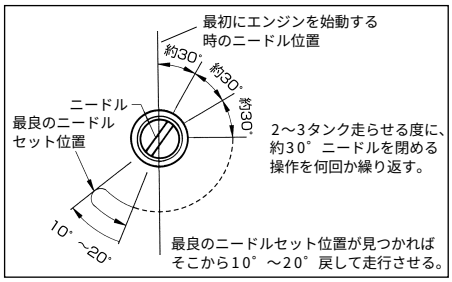
◆ エンジンが始動したらタイヤを浮かせた状態でプラグヒートをしたまま、送信機のスロットルを軽く動かして、低速と中速を繰り返しエンジンを暖めます。（この時、高速状態でエンジンを回し続けないようにしてください）





◆次にプラグヒートをはずして走行します。このとき中速付近で止まってしまうようであれば、濃い状態（吸い込む燃料が多い状態）なのでニードルバルブを30°ずつ閉めてください。

◆この状態で2～3タンク走行し、その後2～3タンクごとにニードルバルブを30°閉める作業を5～10回行ってください。（ストレートでの全開の時間を延ばして行きます）以上でブレークインは終了です。



（注意）

燃料調整が濃すぎる状態での運転は、ならし運転にならないどころか、エンジンの破損にもつながります。エンジン内に熱が行き渡るよう、ある程度温度をあげた状態でのブレークインを行ってください。

◆スロットル全開での直線スピードを見ていき、最高のスピードが得られるところが、ニードルバルブの最良位置ですが、その位置から10°～20°開いた位置で走行してください。また車が動き出さないアイドリング回転に、ローター調整ねじで調整してください。スロットルバルブの開度は出荷状態より少し閉じたところです。

◆ニードルバルブを最良位置からさらに閉めると、エンジンの排気ガスがほとんど見えなかったり、直線でのスピードが落ちたり、立ち上がりの反応が悪くなったりします。このような場合は、そのまま走行せず車を手元に戻し、ニードルバルブを開けてください。

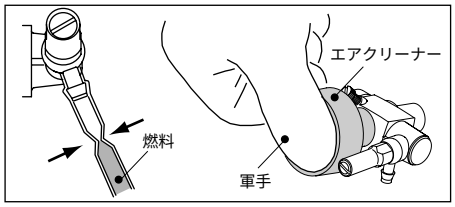
（注意）

空ぶかしでの調整は、実際に走行させる時のキャブレター調整とは大きな違いがあり無意味です。またエンジンの破損にもつながりますので、空ぶかしはしないでください。

燃料の種類を変えたりエンジンを修理したり、サイレンサーやギヤ比・クラッチタイミングを変えた場合は、再度キャブレター調整を行ってください。

■エンジンを停止する場合

◆エンジンを停止する時は、エンジン回転を最低速にして燃料パイプをつまんで、燃料供給を止める。又は、エアクリーナーをふさいでエアーを止めます。この時、必ず軍手などをしてください。



（注意）

エンジン停止の時は回転部分やエンジン本体、エキゾーストパイプ、サイレンサーは高温になっています。手などで触れないでください。

タペット調整について

ＯＳ　4サイクルエンジンは、出荷前に適切なタペットのすきまに調整してありますので、調整の必要はありません。エンジンの部品を交換したり、エンジンの調子が悪い場合のみ、点検してください。点検にはタペット調整キット（オプション）が必要です。

取扱い上の注意

◆使用される燃料中にごみ等が含まれていますと、キャブレタートラブルの原因になります。キャブレターと燃料タンクの間に高性能なフィルターを使用し、また燃料タンクにごみが入らないように注意してください。ゴミによってキャブレターがつまり燃料がうまく流れなくなると、エンジンがオーバーヒートしたり時には焼き付きによって、エンジンを破損することがあります。燃料タンクへはゴミが入らない様に注意し、定期的にフィルターの掃除を行ってください。

◆このエンジンは2サイクルエンジンと比べ構造上、金属同士が接触する部分が多いため、ロッカーアームやカムシャフト部へのグリスアップもしくは、機械油等による注油をお勧めします。またシリンダーヘッド及びエキゾーストマニホールド付近はかなりの高温になりますので、走行後の取り扱いには十分ご注意ください。

⚠ **運転中、運転直後のエンジン本体やサイレンサー、マニホールドに触れないでください。やけどの恐れがあります。**

使った後の手入れ

◆一日の走行が終わったら、燃料タンクに残った燃料は必ず抜き取ってください。

◆その後もう一度エンジンを始動し、キャブレターや燃料パイプの中に残っている燃料がなくなるまで、アイドリングで運転してください。エンジンが止まったらエンジンが暖かい内にスターターで2～3秒まわし溜まった廃油を排出してください。

◆さらに、防錆油をエンジン内部に少量注油し、エンジン内部にゆきわたるようスターターで4～5秒回してください。

（注意）

防錆油はキャブレター内の“ Ｏ ”リングを傷める場合がありますので、キャブレターには防錆を注油しないでください。

◆これによりかなりの防錆効果が得られ、また余分なオイル分が残らず次回のエンジン始動がやりやすくなります。

エンジンの点検

エンジンは長時間、使用している間に磨耗などにより正常な性能を発揮しなくなることがあります。もし、次のような症状が現れたら部品交換をされたら良いでしょう。

◆アイドリングが不安定になったり、アイドリングでエンジンがよく止まる。

◆エンジンの音が変わり、すぐオーバーヒートする。

◆パワーが極端になくなる。

上記のような症状の場合、多くはボールベアリング、コンロッド、クランクケースの異常が考えられます、注意深く点検し、必要に応じて交換してください。

トラブルシューティング

症　状	
エンジンがかからない	
原　因	**対　処**
燃料タンクに燃料が入っていない。 キャブレターまで燃料が来ていない。	燃料タンクに燃料を入れてキャブレターまで 燃料を送る。（チョーク）
プラグが切れている。 プラグヒート用電池が減っている。	プラグを交換する。 電池を新品にする。
燃料フィルターの詰まり。 フィルターエレメント、サイレンサー内の汚れ。	燃料フィルターのそうじ及び新品と交換する。 フィルターエレメント、サイレンサー内のそうじ。
オーバーチョーク。 （エンジン内に燃料が入り過ぎ）	プラグをはずしエンジン内の燃料を出す。 プラグが赤熱するかをチェックする。
燃料チューブがはずれてる。 燃料チューブに穴が開いている。	燃料チューブを確実に差し込む。途中で折れて ないかチェックする。新品のチューブと交換。
サーボリンケージの調整不良。	サーボをニュートラルにして、リンケージを やり直す。
スターターボックスの回転方向が逆。	シャフト側から見て反時計方向に回転している かチェックする。

症　状	
エンジンがかかるがすぐに止まる	
原　因	**対　処**
燃料タンクに燃料が少ししかない。	燃料タンクに燃料を入れる。
プラグが劣化している。	プラグを交換する。
燃料フィルターの詰まり。 フィルターエレメント、サイレンサー内の汚れ。	燃料フィルターのそうじ及び新品と交換する。 フィルターエレメント、サイレンサー内のそうじ。
エンジンのオーバーヒート。	エンジンが冷めるのを待つ。 ニードルを開けて再始動する。
クラッチの切れが悪い。	クラッチスプリングのテンションなどを調整。
始動後、プラグヒートをすぐに切っている。	始動後はプラグヒートをすぐに切らず、回転が 安定するまでそのままにする。
燃料タンク内の燃料が異常に泡立っている。	燃料タンク取付ねじに"O"リング等を入れて、 泡立たないように燃料タンクを取り付ける。

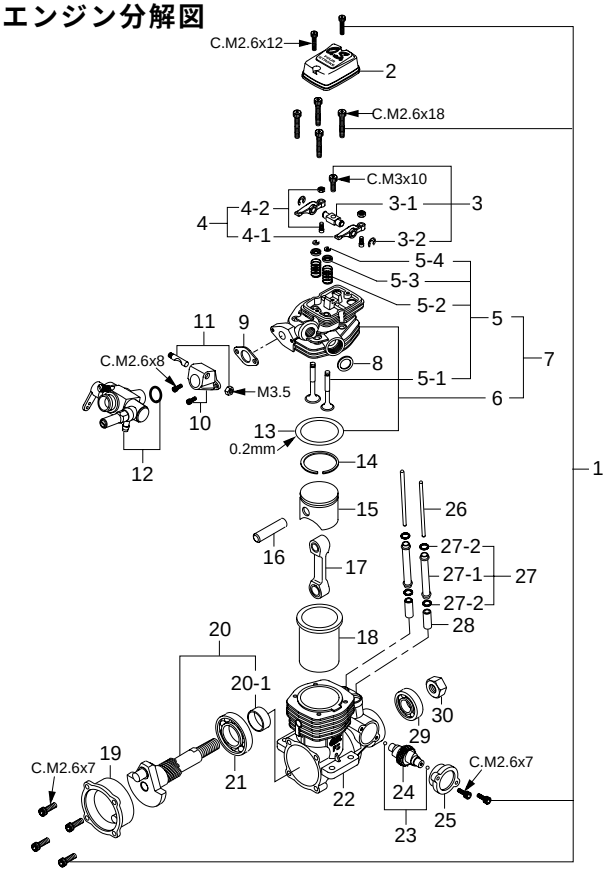
症　状	
アイドリング（低速回転）が安定しない	
原　因	**対　処**
適切なプラグを使用していない。	取扱説明書に記載されている推奨ナンバーのプラグを使用する。
特殊な用途のグロー燃料を使用している。	異常にニトロ含有量の高い物やオイル含有量が少ない物を使用しない。
サイレンサーが外れてたりガタがある。	サイレンサーを確実に取り付ける。

症　状	
最高回転が思った通りにあがらない	
原　因	**対　処**
暖気運転やブレークインが不充分。	必ず暖気運転を行ったあとニードルをセットする。充分にブレークインを行う。
サイレンサー、マニホールドの接続が不十分、又は外れている。	マニホールドとサイレンサーの接続をチェックし確実に取り付ける。
タンクからキャブレターへの配管が亀裂、破損。	配管のシリコンチューブを新品と交換する。

症　状	
レスポンスが悪い	
原　因	**対　処**
プラグが劣化している。	プラグを交換する。
キャブレターの調整不良	ニードルバルブ、ローター調整ねじで低速回転域を確実に調整する。
エキスポネンシャル機能付送信機の設定ミス。	送信機のセッティング内容をチェックする。
リンケージが正確でない。	スロットルコントロールサーボがリンケージと干渉してないかチェックする。

症　状	
回転落ちが悪い	
原　因	**対　処**
アイドリング時のスロットルバルブ開度が開きすぎ。	ローター調整ねじを適切な位置まで閉めて、アイドリングの回転数を下げる。
ニードルバルブの閉めすぎ。	ニードルバルブを少し開ける。
キャブレター取付部の不良。	キャブレターを確実に取り付ける。

エンジン分解図



＊ねじの種類

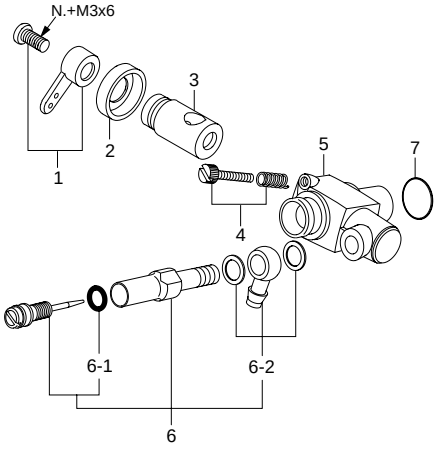
C…キャップスクリュー　B…バインドねじ　M…丸平ねじ
F…皿ねじ　N…なべねじ　S…セットスクリュー

エンジン部品表

No.	品名コード	品　　名	価格（円）	税抜価格
1	44113000	スクリューセット	284	270
2	43004200	ロッカーカバー	368	350
3	45761400	ロッカーサポート　一式	347	330
3-1	45761410	ロッカーサポート	326	310
3-2	45761600	ロッカーアームリテイナー（２個）	105	100
4	45761000	ロッカーアーム　一式（１組）	945	900
4-1	45761100	ロッカーアーム（１個）	683	650
4-2	45761200	タペット調整ねじ（ナット付）	231	220
5	45760020	バルブ　一式（１組）	683	650
5-1	45760110	バルブ（１個）	462	440
5-2	45760210	バルブスプリング（１個）	105	100
5-3	45060309	バルブスプリングシート（１個）	179	170
5-4	46160400	バルブスプリングリテイナー（２個）	116	110
6	44104100	シリンダーヘッド（ガスケット付）	1,995	1,900
7	44104020	シリンダーヘッド（ガスケット、バルブ　一式付）	3,360	3,200
8	45169100	ハイパーエキゾーストガスケット（２枚）	105	100
9	21381950	インシュレーター	210	200
10	45269400	インテークマニホールド　一式	1,838	1,750
11	21481700	キャブレターリテイナー	378	360
12	45282000	キャブレタースロットル 20P	3,150	3,000
13	22714100	シリンダーヘッドガスケット	105	100
14	44103400	ピストンリング	1,260	1,200
15	44103200	ピストン	1,155	1,100
16	22706000	ピストンピン	315	300
17	45705000	コンロッド	788	750
18	44103100	シリンダーライナー	1,155	1,100
19	45707010	カバープレート	315	300
20	44102010	クランクシャフト	2,205	2,100
20-1	45702100	クランクシャフトスペーサー	116	110
21	22830000	クランクシャフトベアリング（後）	1,155	1,100
22	44101010	クランクケース	2,835	2,700
23	45762100	スラストボール（2個）	105	100
24	45762010	カムシャフト	1,995	1,900
25	45701110	カムカバー	263	250
26	44166000	プッシュロッド（2本セット）	210	200
27	44166100	プッシュロッドカバー　一式（2本セット）	683	650
27-1	44166110	プッシュロッドカバー（1本）	221	210
27-2	24881824	プッシュロッドカバー "O" リング（2個）	147	140
28	45264000	カムフォロア（2個）	462	440
29	45231000	クランクシャフトベアリング（前）	735	700
30	23210007	プロペラナット	105	100
	71615009	グロープラグ　タイプF	630	600
	72403202	スーパーエアクリーナー102S（エレメント3個付）	840	800
	72403212	102Sエアクリーナー本体	609	580
	72403120	101,102スポンジフィルターエレメント（6個、オイル含浸済）	473	450

改良のため予告なく仕様・価格等変更することがあります。　表示価格には消費税が含まれております。

キャブレタースロットル(20P)　分解図&部品表



No.	品名コード	品　　名	価格（円）	税抜価格
1	22081408	スロットルアーム 一式	105	100
2	21283210	ダストカバー	347	330
3	45282200	キャブレターローター	840	800
4	22681310	ローター調整ねじ	189	180
5	45282100	キャブレター本体	1,575	1,500
6	21285901	ニードルバルブ　一式	1,260	1,200
6-1	27881820	"O" リング（2個）	147	140
6-2	21881950	ユニバーサルニップルNo.14 一式	347	330
7	22615000	キャブレターガスケット	105	100

＊表示価格には消費税が含まれております。

製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

＊ねじの種類

C…キャップスクリュー　B…バインドねじ　M…丸平ねじ
F…皿ねじ　N…なべねじ　S…セットスクリュー

O.S. SPEED
RACING ENGINE PARTS

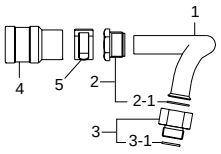
OS純正オプションパーツ&アクセサリー

■ グロープラグ

タイプ　F
(71615009)
¥630（税抜価格　¥600）

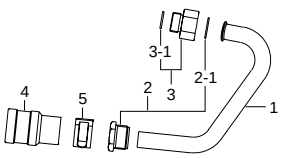
■ ハイパーエキゾーストセット

• 京商スーパー10用　(44126000)
¥2,625（税抜価格　¥2,500）



1 (44126100) **ハイパー・エキゾースト・マニホールド本体　¥1,365**（税抜価格　¥1,300）
2 (45169200) **エキゾースト・パイプ・ロックナット　¥179**（税抜価格　¥170）
2-1 (45169210)　**エキゾースト・ガスケット［2枚］¥105**（税抜価格　¥100）
3 (44126200) **ハイパー・エキゾースト・アダプター　¥630**（税抜価格　¥600）
3-1 (45169100)　**ハイパー・エキゾースト・ガスケット［2枚］¥105**（税抜価格　¥100）
4 (44126300) **マフラー・ジョイント　¥735**（税抜価格　¥700）
5 (44126400) **ホース・クランプ　¥105**（税抜価格　¥100）

• 京商スパイダー用　(44126010)
¥2,625（税抜価格　¥2,500）



1 (44126110) **ハイパー・エキゾースト・マニホールド本体　¥1,365**（税抜価格　¥1,300）
2 (45169200) **エキゾースト・パイプ・ロックナット　¥179**（税抜価格　¥170）
2-1 (45169210)　**エキゾースト・ガスケット［2枚］¥105**（税抜価格　¥100）
3 (44126200) **ハイパー・エキゾースト・アダプター　¥630**（税抜価格　¥600）
3-1 (45169100)　**ハイパー・エキゾースト・ガスケット［2枚］¥105**（税抜価格　¥100）
4 (44126300) **マフラー・ジョイント　¥735**（税抜価格　¥700）
5 (44126400) **ホース・クランプ　¥105**（税抜価格　¥100）

O.S. SPEED
RACING ENGINE PARTS

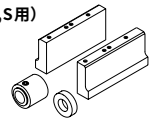
OS純正オプションパーツ＆アクセサリー

■ **スーパージョイントチューブ15**
(72103310) **¥525**（税抜価格 ¥500）

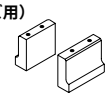
■ **4サイクルカー用サイレンサーF-2000**
(44125100) **¥3,990**（税抜価格 ¥3,800）

■ **FS-26S-Cエンジンマウント**

● **京商（V-oneR,S用）**
(72404400)
¥2,625
（税抜価格 ¥2,500）

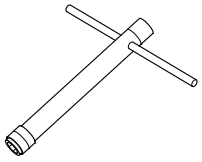


● **HPI（Nitroシリーズ用）**
(72404500)
¥2,625
（税抜価格 ¥2,500）



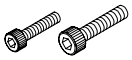
■ **タペット調整キット**
(72200060)
¥578（税抜価格 ¥550）

■ **ロングプラグレンチ**
(71521000)
¥578（税抜価格 ¥550）



■ **キャップスクリューセット（各10本入）**

M2.6x7 (79871020) **¥315**（税抜価格 ¥300）
M2.6x8 (79871025) **¥315**（税抜価格 ¥300）
M2.6x12 (79871040) **¥315**（税抜価格 ¥300）
M2.6x18 (79871055) **¥315**（税抜価格 ¥300）

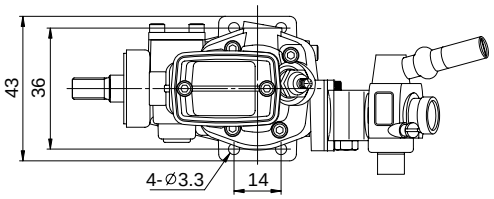


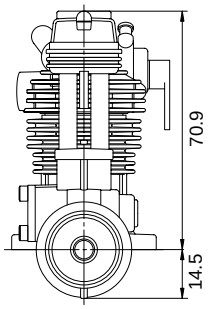
改良のため予告なく仕様・価格等変更することがあります。
表示価格には消費税が含まれております。

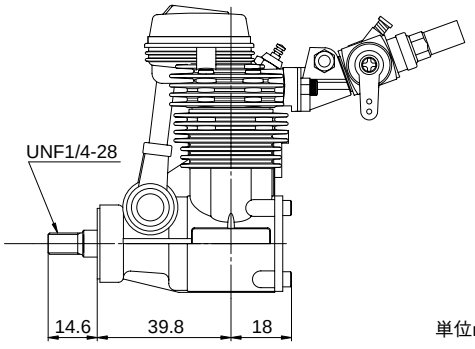
三 面 図

要目

■行程体積	4.41cc (0.270cu.in.)
■ボア	18.5mm (0.728in.)
■ストローク	16.4mm (0.646in.)
■実用回転数	2,000-22,000 r.p.m.
■出力	0.5ps / 17,000 r.p.m.
■重量	242.5g (8.56oz.)







単位mm

アフターサービス

◆エンジンの修理について

- **よく洗浄してエンジン本体のみを弊社「OSエンジンサービス係」までお送りください。（エンジン以外のものが付いていたり汚れがひどいと分解や洗浄に時間がかかり、修理代が高くなります）この時、故障時の状態及び修理希望事項を必ずお書き添えください。その際、送料等の現金を同封しないようにお願いします。**
- 原則として弊社到着後10日以内で修理完了致します。なお修理品は修理の内容及び注意事項を書いた修理カードを添えてご返送いたします。
- 修理品のお支払いについては、コレクトサービス（代金着払いシステム）により発送させていただきますので、お届けした際に修理代金及び送料をお支払いください。

◆交換部品について

- この製品を購入された販売店でお買い求めください。もし販売店にストックがなく部品が入手できない場合は、弊社から直接購入することができます。

この場合、品名コード、品名、数量を明記の上、部品代金＋送料を現金書留か、普通為替で「OSエンジンサービス係」へお送りください。

- 送料荷造手数料は部品の大きさ、重さ、個数により変わります。下記の表をひとつの目安にして、多少加算した額を送料として同封してください。商品発送時に精算して、差額はお返しします。（封筒や梱包材料などの重さも加わりますのでご注意ください。）

重　量	150gまで	250gまで	500gまで
料　金	200円	240円	390円

送料は運賃改正などにより変更になる場合があります。

但し料金の合計が3,000円以上の場合は、宅急便となります。詳しくはOSエンジンサービス係までお問い合わせください。

- 現金書留および普通為替以外でのお申込みは、宅急便によるコレクトサービス（代金着払いシステム）とさせていただきます。
- エンジンを分解したり、組み立てたりすることに、あまり経験のない方には部品の交換はおすすめできません。この製品を購入された販売店にご相談ください。

アフターサービスに関するお問い合わせは、下記の「OSエンジンサービス係」までお願い致します。

OSエンジンサービス係

電 話（06）6702-0230（直通）
FAX （06）6704-2722

＊直通電話が混み合っている場合には、しばらくたってからおかけ直しいただくか、右記の電話番号（代表）あてにご連絡ください。

情報提供サービスのご案内

インターネットを利用してタイムリーな製品情報を提供しています。

ホームページ

・新製品情報　・イベント告知
・トラブルシューティング　・カタログ請求

URL : http://www.os-engines.co.jp

・製品に関するご質問等は

E-Mail : info@os-engines.co.jp

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、製品改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の仕様、デザインおよび説明書の内容については、改良などにより予告なく変更する場合があります。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

小 川 精 機 株 式 会 社
〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目6番15号
電話　（06）6702－0225番(代)
FAX　（06）6704－2722番

MEMO

小 川 精 機 株 式 会 社
〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目6番15号
電話 (06) 6702－0225番(代)
FAX (06) 6704－2722番
URL : http://www.os-engines.co.jp

© Copyright 2004 by O.S.Engines Mfg. Co., Ltd. All rights reserved. Printed in Japan.

60081450 070400